

人財育成(品質技術者の育て方)

第六回 具体的に求めることを「意識」「認識」「知識」に分類(KJ法)

①認識

人に対する認識力
現状認識力
今後の予測見通し
分析し説明する力

分析力

②意識

判断力(時期、コスト)
メーカーとしての責任
疑う力
本人の中から生まれる←教育タイミングもある
品質を上げるとコストが下がる

③知識

ソフトウェア知識

経験的知識

ドメイン知識

将来への知識

ベース知識

人財育成(品質技術者の育て方)

①認識

どうすれば上げられるか？

現状認識力

目標・計画→ゴールの明確に書く



現状を書く



GAPがわかる

- ・とにかく書くことから始める 「書く」を習慣に
- ・何を図れば実態を表すのか？
- ・定期的に図る

分析し説明する力

[知識]で分析力を学ぶ

- ・説明する機会を与える
→ 誰に・・・同じレベルではなく、いろいろな立場の人に